

情報科学専門学校

令和2年度学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価会実施要領

| | | | |
|-----|---------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 日時 | 令和2年12月23日(水) 16:30~17:30 | | |
| 場所 | オンラインミーティング | | |
| 参加者 | 学校関係者評価委員 外部委員 | 小川名 剛彦 | (神奈川県情報サービス産業協会 常務理事) |
| | | 長谷川 長一 | (株式会社ラック プロフェッショナル・フェロー) |
| | | 松岡 秀和 | (日経統合システム 執行役員 ソリューション事業本部長)*ご欠席 |
| | | 長 夏美 | (情報科学専門学校 保護者)*ご欠席 |
| | 学校関係者評価委員 内部委員 | 川上 隆 | (教務部長 国際交流) |
| | | 伊藤 泰宏 | (業務リーダー 統括担当:学校運営・教育の内部質保証システム) |
| | | 那須 宗夫 | (業務リーダー 1学年担当:学生支援・社会貢献・地域貢献) |
| | | 山上 紀彦 | (業務リーダー 2学年担当:学生の受け入れ募集) |
| | | 小倉 正己 | (業務リーダー 3・4学年担当:学修成果) |
| | | 武藤 幸一 | (業務リーダー システム担当:教育活動) |
| | | 山田 仁子 | (業務リーダー ビジネス科担当:学修成果) |
| | | 濱口 和也 | (記録係 学生支援/教育環境) |
| | 資料 | ・ 令和2年度学校関係者評価会 実施要領 | |

2. 自己点検評価結果報告および各項目に対する学校関係者評価

2-1. 教育理念・目標

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） ・学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズ調査しているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度からの全科目LMS(eラーニングシステム)対応化を契機に、全科目の学習ガイドを育成人材像に合わせて再整備する ・令和2年度は対面での保護者説明会が行えないことを踏まえて、オンラインでの保護者説明会等の機会または保護者向け文書等により、「理念・目的・育成人材像・特色・将来構想」等を保護者に周知することとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・方向性が明確に定められていて安心。確実に世の中はAIなどの専門技術者がもとめられているので、この方向性はあっていると思う。 ・今年から、スマートシティ、スーパーシティ構想（内閣府）により、5G, IoT, AI, ビッグデータといった方向で実証実験がはじまっているので、この方向は全く間違っていない。 ・専門学校は時代に合ったコース編成の速さ（大学や高専は学科・コースの再編成に時間がかかりあしがおそい）、機動力に優れている。これからの人材育成にも期待している。 |

2-2. 学校運営

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか ・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・目的等に沿った事業計画が策定されているか ・事業計画に沿った運営方針が策定されているか ・人事、給与に関する制度は整備されているか ・教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか ・教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか ・学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか ・利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔会議システムを活用し、学年ごとの教職員会議を定例化。また、議事録も教職員全員に確実に共有することで、教職員間の情報共有や学生支援の迅速化を図る。 ・オンライン教育用の LMS(e ラーニングシステム)活用のガイドラインを令和 2 年度末までに作成。LA(Learning Analytics)に必要なデータを着実に蓄積。データに基づいた授業や学生指導の改善に着手。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全く同じように苦勞している状況。急にテレワーク主体になってくると、状況にあわせて工夫をしている最中である。いままでの習慣でやっていたことが不要となるような仕分けもできてきている。 ・テレワークを3年前から推進しているが、悩みは多い、色々なところで情報交換をしていきたい、社内で電話やメールでのやり取りはやめている。意思統一して他の方法にしている teams、zoom などに置き換えていく。古いものは捨てていくくらいの行動が必要。学び合い、教えあいの強化、勉強会など環境づくりが重要。 |

2-3. 教育活動

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・情報・IT分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・学科等カリキュラムは体系的に編成されているか ・Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか ・情報・IT分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか ・シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか ・学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか | <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム編成委員会等で決定した方針や学科ごとの教育方針を全教員で事前に共有し、たとえ同一科目であっても学科毎にアレンジして講義できるような体制を整える ・各学科の責任者および学年主任が全ての授業科目のシラバスを点検し、「学習ガイド作成の手引き」に準拠していない科目については科目責任者に指導を行い、修正することとする。 ・全教員が主担当学科以外の学科のカリキュラムや授業資料を閲覧したり授業を見学したりできる仕組みを整えることで、学科ごとに連続性を持った授業展開を行いやすくする | <ul style="list-style-type: none"> ・学科がいろいろあって、特徴づけるということは完璧にはできないことだとは思いますが、基本で持っていないかもしれないことがある上で、学科ごとの独自性を出していくということはベターだと思う。お互いにコミュニケーションをとりながら、どういったことを教えていくのかを密にしていくことは良いと感じた。 ・非常に効率的、効果的な方法で非の打ちどころないとおもう。あるとすると、産業界では、プラットフォーム上で仕事をしていて、実際に業務をする環境を発展のところでいき、実際の業務プロセスなどを学生に話すことができれば、社会に出てからの実業務に応用しやすいのと、学生のモチベーション向上に寄与できるのではないかと思います。 |

| | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 授業評価の実施・評価体制はあるか・ 閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか・ 教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか・ 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・ 教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか・ 情報・IT 分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書で記録しているか）・ 情報・IT 分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか | | |
|---|--|--|

2-4. 学修成果

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか ・学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか ・成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか ・ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理科以外の学科についても iCD のタスクと関連付けた到達目標の明確化を進める。情報系の他学科は iCD 以前の指標である ITSS が採用されており、iCD の適用を行う。情報系以外の学科については、iCD の適用範囲を定め、それ以外の部分について iCD に代わる指標を検討する。 ・就職指導の活動の中で、企業の人事部と接触する際に卒業生の情報を得る機会が多く、そこで得た情報を共有する。 ・卒業後の就職支援については、在校生向けの就職ポータルサイトの刷新に合わせて、卒業生への情報発信の強化に務める | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス科はこれ以上ないような資格検定への取り組みである ・情報系では、専門学校として、資格にはどのような観点で取り組んでいるのかは考えるところ。基本情報などのオーソドックスなもので力をつけさせたり、oracle など型のきちとした資格試験に挑戦することも良いと感じた。資格への取り組みとして、データサイエンティストを目指すといった枠組みの中で目標資格を決めていくことかと思う。 ・専門的な資格は入社してからで充分だと思う。学生で取得していると評価は大きいと思うが、学生のころから学習する習慣がついていて、入社後に資格取得をできるようになっていると良い。 ・AWS や Azure などのインフラ系の資格を目指すエンジニアが多くなっている。 |

2-5. 学生支援

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・保護者と適切に連携しているか ・社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・卒業生への支援体制はあるか ・図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか | <ul style="list-style-type: none"> ・来校した卒業生に対する就職支援は随時行っているが、組織的な取り組みには至っていない。今後は卒業生に対しての就職支援のしくみを作っていく ・入学時より保護者とスマホ等でやりとりを行うサービスを導入。積極的は情報配信とやりとりを実施。利用率は70%、 ・年に一度卒業生交流会を実施。卒業生の活躍を在校生が知る機会としている。また、卒業生から直接学校に対する意見をヒアリングすることで、カリキュラム検討やキャリア教育に取り入れている ・就職指導は、卒業年次の半年前から継続して実施。メイク講座やスーツセミナー、会社見学会、学内での企業説明会、また個人面談など定期的に行っている ・奨学金を利用する学生増のため、担当職員を増やし対応体制を強化している | <ul style="list-style-type: none"> ・IT業界の就職熱は冷めていない。 ・就職活動への不安はないのだが、IT系に比べる大学生が多くなっていくことに不安を感じている、学生へのフォローを積極的に行いたい。 |

2-6. 教育環境

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。 ・教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか ・防災に対する体制は整備されているか | <ul style="list-style-type: none"> ・備品は定期的に点検・更新を行っている ・各教室に「急病発生時の対応方法」を掲示。非常勤にも緊急時の対応が一様にできるようにしている ・県警OBによる実践的防犯訓練を毎年実施している。 ・インターンシップ・コンテスト報告会などを開催し、学生間での情報共有・交流を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ |

| | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | | |
|---|--|--|

2-7. 学生の受入れ募集

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか） ・履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか ・学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか ・学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか ・学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか ・教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか ・学納金は妥当なものとなっているか | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度入学生用の募集要項から情報を掲載。また、オープンキャンパス等のイベント時に文部科学省が提供しているリーフレットを用いて正確な情報を提供していく。 ・グローバルな視点を持った人材の育成の促進を図るため、同内容を踏まえた特待生制度導入を検討。また、短期留学できる制度を周知できるツール作成を検討。 | <ul style="list-style-type: none"> ・世の中のニーズに合わせた新しい学科もあり、順調に学生が増えている点は評価できる。 |

2-8. 教育の内部質保証システム

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・ 文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか ・ 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか ・ 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか ・ 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか ・ 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか ・ 自己点検・評価結果を公開しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度からの運用を目標としてオンライン授業での教員同士の相互授業見学システムの開発に着手。 ・ 主に管理職を対象とした内部監査についての研修実施を検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ |

2-9. 財務

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている ・ 財務について会計監査が適正に行われているか ・ 財務情報公開の体制整備はできているか ・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状財務基盤は安定しており、継続的な学校運営に問題ない状況である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ |

2-10. 社会貢献・地域貢献

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市や県、地域団体企業と連携し、学生のものづくりを通じて貢献していく ・ 学生だけで行う小学校向けプログラミング教育が順調に広まっている | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の教員向けの講座は良い取り組みである。大学講師向けの講座は10年やっても進歩が感じられないこともあるが、小学校レベルから底上げをしていることは非常に意味のあること。 ・ ギガスクール支援という意味でも意義が高い。地域活動の支援にITの学生としての力を発揮できる場があると思う。 |

2-11. 国際交流

| 学校が設定する評価項目 | 自己点検評価の概要 | 学校関係者からの評価 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか ・学修成果が国内外で評価される取り組みを行っているか | <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視点を持ち、国際的な活躍を夢見る入学希望者支援する新しい特待生入学制度「G-Leader 特待生」を令和2年度より導入予定。教職員や学生の国際的な視野を広げることで、留学生にとって魅力ある学校づくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視点を持つ学生を積極的に増やしていくことは、非常によい活動だと思う。 |

以上

次回、R02年度の自己点検・評価に関する学校関係者評価委員会は2021年6月に開催させていただきます。